



准教授

田中 稲子

タナカ イネコ



大学院都市イノベーション研究院 都市イノベーション部門
大学院都市イノベーション学府 建築都市文化専攻 建築都市文化コース
都市科学部 建築学科
itanaka@ynu.ac.jp
<http://ynuarchitecture5.wixsite.com/ynuarchi5lab>

工学
建築学

建築環境・設備

環境共生建築
省エネ建築
温熱環境
住環境教育

【研究概要】

自然エネルギー利用を中心とする環境共生型の建築や都市デザインに関わる研究を行っています。建築レベルでは建物の室内環境（温熱・光）評価を、都市レベルではヒートアイランド対策としての壁面緑化や小規模緑地/水路の冷却効果等を温熱環境および生理・心理反応の両面から評価を行っています。また、建築・都市環境のあり方について社会科学的な調査分析を行っています。これらの成果を環境行動に繋げるための住環境教育のプログラム開発と実践を一般建築やエコスクールを対象として行っています。

【アドバンテージ】

自然エネルギーを活用するような建築は、利用者の環境調整行動を前提としたつくりが基本となるため、室内環境評価だけでは本来の性能を保証したことはありません。このため、利用者の環境行動も含めた評価や環境行動を誘発するような住環境教育プログラムの提示も重要となります。一連の研究では建物と人間の両視点から建築環境をデザインするための手法を構築しようとする点に特徴があります。

【事例紹介】

- 有形文化財「セキスイハウスA型」の温熱環境調査 (2016)
- 左近山団地における浴室の簡易断熱手法の検証とコンサルティング (2015)
- 宮田村こども保育園+東保育園改修環境設計監修 (2012)
- 杉並区エコスクールにおける住環境教育プログラムの構築 (2008-2009)
- パッシブ換気システム部材「息をする壁体」の開発 (1995-2001)

■ 相談に応じられるテーマ

建物の温熱環境評価
建物のパッシブ手法の開発・評価
住まいやまちに関わる環境教育
保育施設の室内環境評価

■ 主な所属学会

日本建築学会
人間-生活環境系学会
日本エネルギー環境教育学会

■ 主な論文

『5年生児童を対象とした建物の風利用に関する住環境学習プログラムの開発』
日本エネルギー環境教育学会, Vol. 5, No. 1, 2010
『杉並区エコスクールにおける住環境学習プログラムの開発』
日本建築学会技術報告集 17 (36), 2011
『Annual Thermal Characteristics of Green Facade with Wide Air Layer』

Proceedings of the Fourth International Conference on Human-Environment System, 2011
『子どもの成育環境からみるサステイナビリティ』
土木技術, No. 66, Vol. 12, 2011
『高齢化の進む長期経過団地におけるDIY ヒートショック対策技術の開発研究』
福祉のまちづくり学会全国大会, 2015
『小学校児童を媒介とした住環境行動の家庭への波及効果に関する研究』
日本建築学会大会学術講演梗概集, 2009

■ 主な特許

特許第3389442号「建物の壁構造」

■ 主な著書

「まち保育のススメ」 萌文社 2017
「環境教育用教材 学校のなかの地球」 技報堂出版 2007
「アーキテクテク」 建築ジャーナル 2006